

- 三菱ふそうトラック・バス、大型観光バス「ふそうエアロエース」「ふそうエアロクイーン」のヒーターホースに不具合があるとしてリコール
17年6月9日～20年2月24日に生産した2001台
ヒーターホースの耐久性が不足している為、早期にヒーターホースが破損するものがあり、冷却水が漏れ、そのまま走行を続けるとオーバーヒートに至る恐れがある。
- FCAジャパン、ジープ「ラングラー・アンリミテッド」「ラングラー」のトランスミッションハーネスに不具合があるとしてリコール
18年9月10日～20年4月30日に輸入した7819台
トランスミッションハーネスの配策が不適切な為、ハーネスと触媒との距離が不十分に確保されていないものがある。その為、触媒の熱によりハーネスが溶損し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止する恐れがある。
- アウディジャパン、アウディ「A1」等計4車種の7速STロニックに不具合があるとしてリコール 11年3月28日～12年10月29日に輸入した1万1015台
7速STロニック型自動変速機のメカトロニクスにて、アクムレータ取付け部のハウジング加工精度が不適切な為、始動時や渋滞走行などの大きな油圧変動が繰り返されると、ハウジングに微細な亀裂が発生するものがある。その為、油圧が低下するとともに警告灯が点灯し、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、走行できなくなる恐れがある。
- スバル、「レガシィ」のHIDヘッドライトに不具合があるとしてリコール 09年7月1日～14年9月5日に生産した11万6540台
HID仕様のヘッドランプ(ロービーム)にて、バルブと反射面の仕様の組み合わせによって、バルブからの紫外線により反射面の劣化が促進されるものがある。その為、そのまま使用を続けると、反射面のアルミ蒸着が剥離し、光度が徐々に低下。最悪の場合、保安基準第32条(前照灯の基準)に適合しなくなる恐れがある。
- メルセデス・ベンツ日本、「ピアノ」「ピアノ3.2」「V350」の燃料ポンプに不具合があるとしてリコール 03年11月21日～14年6月30日に輸入した9863台
燃料タンクに装着されている燃料ポンプにおいて、車両搭載時の組み付けが不適切な為、リターンズルに引張力がかかっているものがある。その為、使用過程での負荷によりリターンズルに亀裂が生じ、燃料が漏れる恐れがある。
- ボルボ・カー・ジャパン、「V60」等計6車種のエンジン冷却装置に不具合があるとしてリコール 15年6月16日～17年1月7日に輸入した4492台
エンジン冷却装置のエア抜き設計が不適切な為、修理等により冷却水を再充填する際に、専用特殊工具を正しく使用しない場合、エンジン冷却装置からエアが抜けないことがある。そのため、冷却が不十分となり、最悪の場合、エンジンルームが火災に至る恐れがある。
- メルセデス・ベンツ日本、「AMG G63」「G350d」「G550」のディファレンシャルロックシステムに不具合があるとしてリコール
18年8月6日～19年12月17日に輸入した3870台
コントロールユニット内の構成部品の材質選定が不適切な為、アクスルオイルから発生するガスにより電氣的な障害が発生することがある。その為、警告灯の点灯とともにABSや横滑り防止装置(ESP)の作動が停止して、最悪の場合、滑りやすい路面等で車両の挙動が不安定になり事故を起こす恐れがある。
- グループPSAジャパン、プジョー「308」「リフター」の冷却装置に不具合があるとしてリコール
18年11月27日～19年12月24日に輸入した1479台(リフターは1台のみ)
EGRバルブ冷却水ホースにて、配策設定が不適切な為、ホースとエアフィルターハウジングとのクリアランスが小さくなり、走行中の振動により接触することがある。その為、ホースが損傷し冷却水が漏れ、最悪の場合、エンジンオーバーヒートに至る恐れがある。